Creative Enzymes®

ネイティブリゾプス属アミログルコシダーゼ

Cat. No. NATE-0076

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	グルカン1,4-α-グルコシダーゼは、小腸のブラシボーダーに位置する酵素で、系統名は4-α-D-グルカン・グルコヒドロラーゼです。この酵素は、次の化学反□を触媒します：末端の(1->4)結合したα-D-グルコース残基を、非還元末端から順次加水分解し、β-D-グルコースを放出します。酵素のほとんどの形態は、次の結合が1,4である場合、1,6-α-D-グルコシド結合を迅速に加水分解することができます。
用途	アミログルコシダーゼは、α-D-グルコシドを加水分解するために使用されます。ビールの醸造やパン、ジュースの製造に使用されることがあります。Rhizopus属からのアミログルコシダーゼは、タンパク質のER関連分解（ERAD）中のオリゴ糖の切断を研究するために使用されてきました。この酵素は、N-バニリル-ノナンアミドの糖鎖付加に使用され、水溶性の成分を形成し、□理学的□用があります。コプリヌス・シネレウスの茎残渣中のグリコーゲンは、アミログルコシダーゼで処理し、生成されたグルコースの量を測定することによって推定されました。
別名	グルコアミラーゼ; アミログルコシダーゼ; γ-アミラーゼ; リソソームα-グルコシダーゼ; 酸性マルターゼ; エキソ-1,4-α-グルコシダーゼ; グルコースアミラーゼ; γ-1,4-グルカングルコヒドロラーゼ; 酸性マルターゼ; 1,4-α-D-グルカングルコヒドロラーゼ; EC 3.2.1.3; 9032-08-0

製品情報

由来	リゾプス属 (Rhizopus sp.)
形態	凍結乾燥塩無添加粉末
***EC*番号**	EC 3.2.1.3
***CAS*登□番号**	9032-08-0
活性	> 40,000 ユニット/g 固体
緩衝液	0.03 M クエン酸ナトリウム-リン酸緩衝液、pH 4.5: 可溶性 5.0 mg/mL
単位定義	1ユニットは、55°CでpH 4.5の条件下で3分間にデンプンから1.0 mgのグルコースを放出します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C